

事業名称	赤ちょうちん屋台の会
団体名	地産地消ひめじバル復活祭
協働の相手方	農政総務課

目的	<p>「地産地消ひめじバル復活祭」は、姫路産の海老芋、太市のたけのこ、姫路のれんこん、安富のゆず、いちじくをはじめ、姫路市内でとれる野菜や魚介、姫路和牛、姫路ポーク桃色吐息、坊勢サバなどの地元産食材を使った料理や地酒、特産品を提供する食のイベントを開催する。このイベントを通じて、以下の目的を達成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客や姫路市民に姫路の職について再認識してもらい、地元食材を活用した料理の魅力を伝える。 ・日ごろ利用しない店を知ってもらうことで、姫路の飲食店の活性化を図る。 ・参加店が新たな特産品を開発することで、姫路地域の活性化を図る。 ・「あとバル」の開催により、姫路地域全域の飲食店の認知度を向上させ、観光客や来店者の増加につなげ、姫路地域の活性化に寄与する。
内容	<p>姫路の中心街で地元産の食材を使った一品が楽しめる「地産地消ひめじバル」を2023年10月26日に開催した。姫路駅前などの繁華街にある飲食店39店舗が参加した。参加店ごとに地元産の食材を使った自慢の一品と播磨の地酒などのドリンクをセットし、バル参加者約1,200人に提供した。バル参加者はあらかじめ、参加賞となるリストバンド（500円）を購入していただき、同時に参加店とバルメニューが紹介された冊子上のバルブックを提供した。バルメニューの価格は700円～2000円と、それぞれの店舗により異なり、開催時間も各店舗で異なり、一部の店ではランチタイムから実施した。今回は、新たにバル終了後の「あとバル」を開催し、11月の1か月間、駅周辺や繁華街の飲食店だけでなく、姫路一円の飲食店への来店機会を作り、新たな顧客誘導につなげた。</p>
事業経過	<p>バル当日、バル参加者が各店平均して60～80人訪れ、参加者の中には10点以上の店を訪れた人もおり、それぞれのお店の自慢の一品と飲み物を楽しむとともに、その様子や感想など写真を添えて、フェイスブックやインスタグラムなどのSNSに投稿した。これにより、参加者同士がお互いの発見を共有し、新しいお店への興味を刺激しあうことができた。参加者にとって、初めて訪れるきっかけにもなり、バルを通じて新たな顧客が獲得できた。SNDでの参加者の料理写真や店の紹介の投稿により、ネットでも話題になる等、姫路市の中心街の飲食店のPRができ、中心街の活性化につながった。あとバルの開催により、ひめじバルに参加できない郊外店もバルブックで29店舗紹介した。あとバル参加店がバルブック持参者に独自の「バル特典」を提供し、来店のきっかけとした。こうした取り組みにより、中心街だけでなく郊外店への新規客の誘導ができた。</p>
事業の効果	<p>地産地消ひめじバルは、姫路およびその周辺の多様な食材や特産品を使用した料理を楽しむ機会を提供し、参加者は飲食店の工夫や味を体験することで、姫路の豊かな食材の精算実態を理解し、地産地消の重要性を実施することができた。バルブック冊子はイベント後もガイドブックとして活用され、参加店の紹介を通じて新しい来店を引き寄せていると思われる。</p> <p>このバルは、地域や街の活性化と飲食店の振興を目指す食べ歩き飲み歩きグルメイベントで、コロナ禍で苦境にあった飲食店が姫路の職を前向きに盛り上げようという取り組みをアピールできた。姫路駅周辺の店舗は客数が戻っているが、駅から離れた地域の飲食店は厳しい状況が続いており、このイベントを通じて姫路一円の飲食店が一体となって、地域の飲食シーンの活性化に寄与した。</p>
今後の展望	<p>参加店及び参加者から印象を得た今回のイベントは、毎年を開催を継続し、地元の魅力を発信し続けるために、バルを恒例行事として定着させたいと考えます。特に地産地消に焦点を当て、その実感を得られる期待として位置付けたい。</p> <p>今回のバルで提供された地元食材を使用した料理は、各参加店が定期的に提供していくことで、地元の生産者と協力し、地産地消を推進する飲食店としてのアイデンティティを確立していく。これにより、観光客や地元の方々に、地元食材を生かしたおいしい料理を楽しんでいただくことに期待したい。</p>

【実施団体の事業総括・感想等】

<p>姫路市中心街で「姫路地産地消ひめじバル」を開催した。参加者は姫路やその周辺でとれる様々な食材、特産品を使った料理を味わうことができ、姫路で様々な食材が生産されていることを知り、地産地消について実感できた。</p> <p>また、初めて参加店に訪れた方も多く、来店の良いきっかけとなった。参加店を紹介するバルマップは、バルが終わった後も各店のガイドブックとして活用されており、バルを通じて新たな顧客の獲得につながった。今回の成功を受けて、バルブック冊子を強化し、イベント後も地元の飲食店や観光地を紹介するガイドブックとして利用できるよう工夫していく。</p> <p>地元の食材や観光スポットに関する情報を積極的に更新し、地域社会と連携しながら、地元愛と共に成長</p>

していく取り組みを展開していく。

【協働の相手となった所管課の感想等】 ※実施団体は記入しないでください

地産地消を目的に、姫路の様々な食材の魅力を発信するイベントを実施していただきありがとうございました。

市民、市外の方へ姫路の農水産物を知ってもらい、飲食店で提供していただいたことで、農水産物の魅力を十分に伝えることができました。

今後とも、地産地消の推進にご協力をお願いいたします。